

56 肝機能障害：点数

A S T、A L T、 γ -G Tから判断されるガイドラインに定められた数値でコントロール状態を判定し3段階で点数化。

57 上位1割の高額医療費該当・非該当

1年間の医療費合計が高い順に並べて上位1割を高額医療費とし、該当の有無

58 医療費（入院外）

外来における1年間の医療費

59 医療費（入院）

入院における1年間の医療費

60 医療費（調剤）

調剤における1年間の医療費

61 医療費（総額）

58～60の合計と、DPCにおける医療費,歯科における医療費を合計したもの

62 レセプト（入院外）有無

外来における医療費の存在有無

63 レセプト（入院）有無

入院における医療費の存在有無

64 レセプト（調剤）有無

調剤における医療費の存在有無

65 疾病大分類（A-0100）回数 ～87 疾病大分類（A-2200）回数

1年間の疾病大分類出現回数

88 疾病中分類（B-0101）回数 ～214 疾病中分類（B-2220）回数

1年間の疾病中分類出現回数

215 生活習慣病（糖尿病）有無

レセプトにおける傷病名有無

216 生活習慣病（高血圧症）有無

レセプトにおける傷病名有無

217 生活習慣病（脂質異常症）有無

レセプトにおける傷病名有無

218 生活習慣病（脳血管障害）有無

レセプトにおける傷病名有無

219 生活習慣病（虚血性心疾患）有無

レセプトにおける傷病名有無

220 生活習慣病（動脈・細動脈疾患）有無

レセプトにおける傷病名有無

- 221 生活習慣病（肝機能障害）有無
レセプトにおける傷病名有無
- 222 生活習慣病（慢性腎不全）有無
レセプトにおける傷病名有無
- 223 生活習慣病（網膜症）有無
レセプトにおける傷病名有無
- 224 生活習慣病（壊疽）有無
レセプトにおける傷病名有無
- 225 生活習慣病（高尿酸血症）有無
レセプトにおける傷病名有無
- 226 生活習慣病（歯周病）有無
レセプトにおける傷病名有無
- 227 腎不全透析 有無
レセプトにおける傷病名、診療行為の有無
- 228 受診回数（透析除く）
受診回数（レセプト数）
- 229 受診施設数
レセプトに出現した医療機関数
- 230 血糖値（空腹時）実施回数
レセプトにおける診療行為の実施回数
- 231 血糖値（食後）実施回数
レセプトにおける診療行為の実施回数
- 232 HbA1c（グリコアルブミン）実施回数
レセプトにおける診療行為の実施回数
- 233 中性脂肪実施回数
レセプトにおける診療行為の実施回数
- 234 LDLコレステロール実施回数
レセプトにおける診療行為の実施回数
- 235 HDLコレステロール実施回数
レセプトにおける診療行為の実施回数
- 236 尿素窒素実施回数
レセプトにおける診療行為の実施回数
- 237 血清クレアチニン実施回数
レセプトにおける診療行為の実施回数
- 238 尿酸実施回数
レセプトにおける診療行為の実施回数

239 AST 実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

240 ALT 実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

241 γ -GTP 実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

242 尿潜血定性検査実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

243 胸腹部単純 X 線 実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

244 心電図（非負荷） 実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

245 尿蛋白定性検査実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

246 尿中アルブミン（クレアチニン補正值）実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

247 尿中蛋白定量（随時尿・クレアチニン比）実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

248 神経伝達速度実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

249 心電図 R 波間隔変動実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

250 振動覚閾値検査実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

251 大動脈波伝搬速度（ABI）実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

252 足関節上腕血圧比（PWV）実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

253 頸部血管エコー 実施回数

レセプトにおける診療行為の実施回数

254 腹部エコー 実施回数

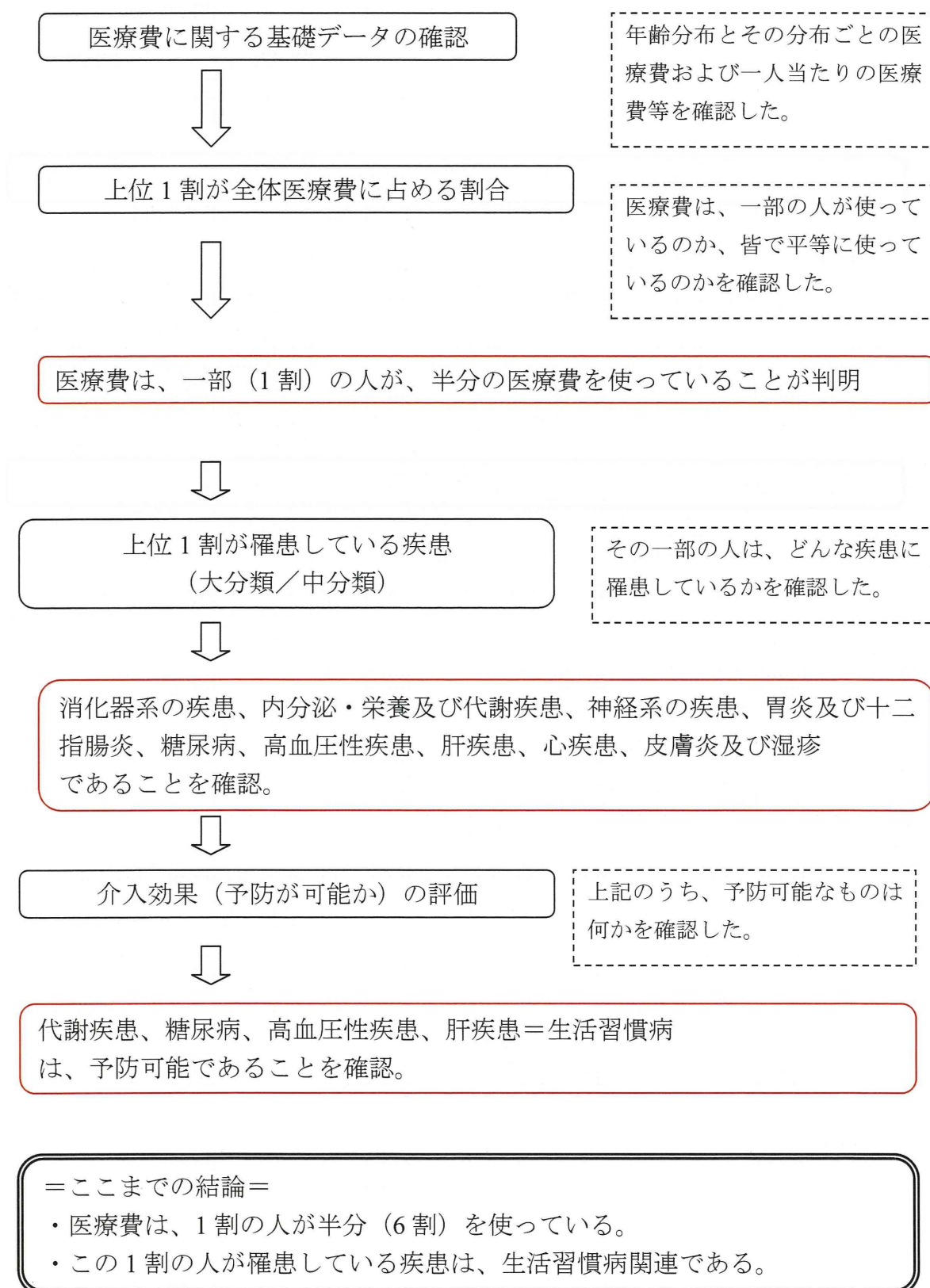
レセプトにおける診療行為の実施回数

255 眼科受診（眼底検査） 実施回数

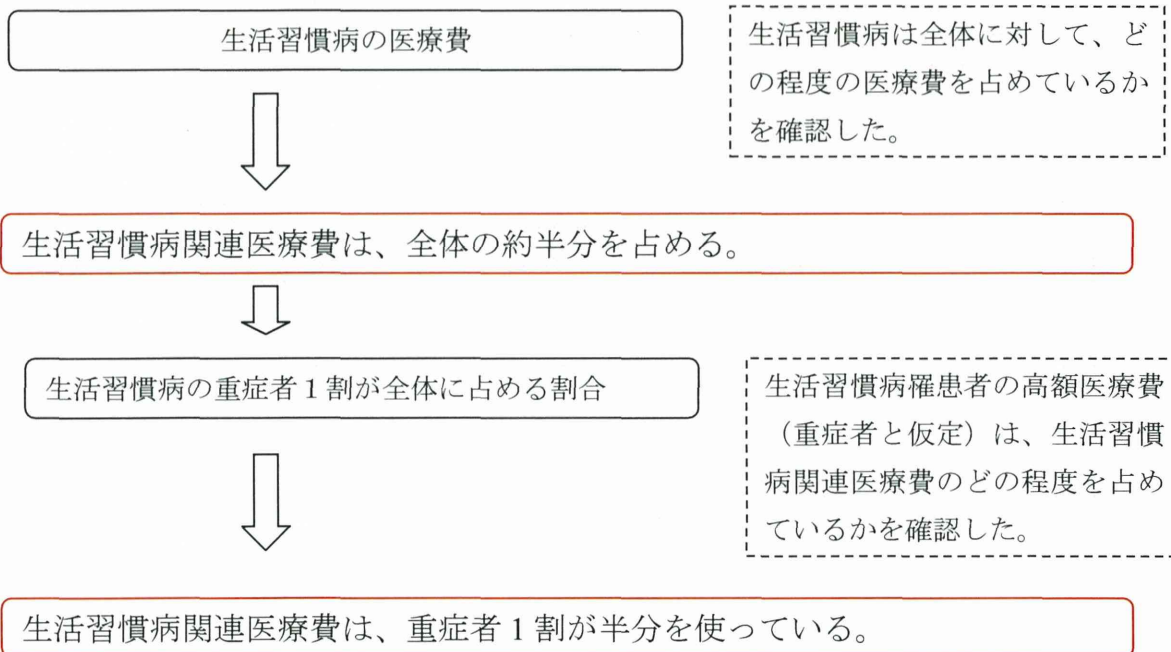
レセプトにおける診療行為の実施回数

1.2 データヘルス計画との連携

医療費分析は、以下の手順で実施した。



生活習慣病にターゲットを絞って分析した。



＝結論＝

- ・ 医療費は、1 割の人が半分を使っている。
- ・ この 1 割の人が罹患している疾患は、生活習慣病関連である。
- ・ 生活習慣病は、重症化予防が可能である。
- ・ 生活習慣病関連医療費は、全体の半分を占める。
- ・ 生活習慣病関連医療費は、重症者 1 割が半分を使っている。

生活習慣病の代表的な疾患である糖尿病をターゲットにすることは蓋然性が高い。

(1)基礎データの確認

<分析対象者プロフィール>

保険者： 複数の保険者（国保＋健保）

対象年度 2013年度

分析対象者数： 89,366人

資格区分	男(人数)	女(人数)
被保険者	33,488	12,542
被扶養者	12,661	30,675

医療費総額： 26,349,765,090 円/年

加入者1人あたりの医療費： 391,842 円/年

加入者分布

0-4歳	2,438人	2.7%
5-9歳	2,666人	3.0%
10-14歳	3,106人	3.5%
15-19歳	3,218人	3.6%
20-24歳	3,203人	3.6%
25-29歳	3,054人	3.4%
30-34歳	3,838人	4.3%
35-39歳	4,522人	5.1%
40-44歳	5,608人	6.3%
45-49歳	4,918人	5.5%
50-54歳	5,149人	5.8%
55-59歳	5,798人	6.5%
60-64歳	12,033人	13.5%
65-69歳	12,969人	14.5%
70-74歳	12,303人	13.8%
75歳-	4,543人	5.1%

<健診実施状況>

医療費分析を行う上で、対象者がどのような状態でどの程度の医療費を使っているかを見極める必要がある。これは、身体状態が非常に悪いにもかかわらず、医療費を使っていない（通院していない）ような場合、将来重症化してから医療費が極端にかかる可能性があるからである。

身体状態は、健診結果から把握するが、本対象者の健診受診率を確認した。

特定健診	対象者人数 (40歳以上)男	対象者人数 (40歳以上)女	健診受診者数 (40歳以上)男	健診受診者数 (40歳以上)女	実施率 (40歳以上)男	実施率 (40歳以上)女
	28,553 人	29,531 人	6,282 人	7,591 人	22%	26%

全体 23.9%

【対象者内訳】

対象者内訳	年齢帯	男	女
被保険者	40-44 歳	2005	842
	45-49 歳	2022	809
	50-54 歳	2079	810
	55-59 歳	2584	911
	60-64 歳	5151	1691
	65-69 歳	6162	2144
	70-74 歳	5544	2051

対象者内訳	年齢帯	男	女
被扶養者	40-44 歳	947	1538
	45-49 歳	688	1492
	50-54 歳	475	1509
	55-59 歳	355	2175
	60-64 歳	315	4445
	65-69 歳	134	5112
	70-74 歳	92	4002

【健診受診者内訳】

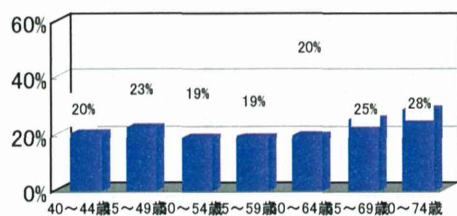
健診受診者内訳	年齢帯	男	女
被保険者	40-44 歳	410	128
	45-49 歳	456	118
	50-54 歳	396	139
	55-59 歳	493	164
	60-64 歳	1010	383
	65-69 歳	1537	618
	70-74 歳	1577	614

健診受診者内訳	年齢帯	男	女
被扶養者	40-44 歳	115	313
	45-49 歳	71	271
	50-54 歳	57	294
	55-59 歳	58	480
	60-64 歳	47	1172
	65-69 歳	35	1617
	70-74 歳	20	1276

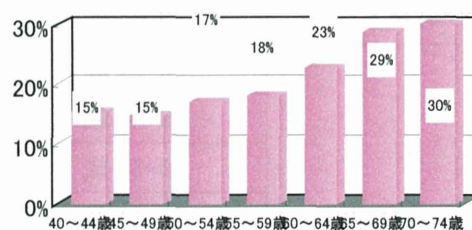
【実施率内訳】

		男	女
被保険者	40~44 歳	20.4%	15.2%
	45~49 歳	22.6%	14.6%
	50~54 歳	19.0%	17.2%
	55~59 歳	19.1%	18.0%
	60~64 歳	19.6%	22.6%
	65~69 歳	24.9%	28.8%
	70~74 歳	28.4%	29.9%
被扶養者	40~44 歳	12.1%	20.4%
	45~49 歳	10.3%	18.2%
	50~54 歳	12.0%	19.5%
	55~59 歳	16.3%	22.1%
	60~64 歳	14.9%	26.4%
	65~69 歳	26.1%	31.6%
	70~74 歳	21.7%	31.9%

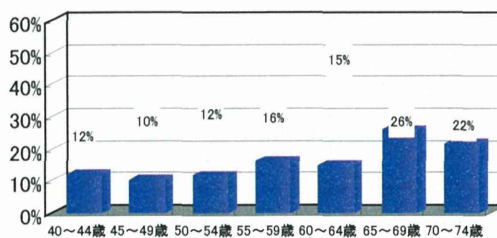
被保険者(男) 年代別健診実施率



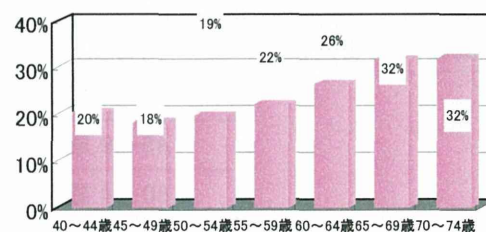
[%] 被保険者(女) 年代別健診実施率



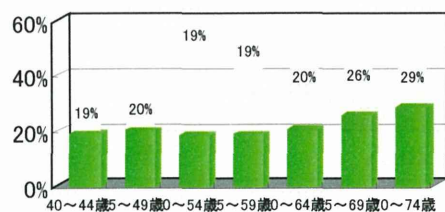
[%] 被扶養者(男) 年代別健診実施率



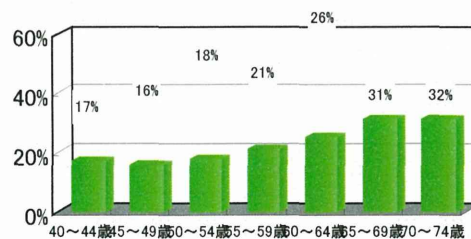
[%] 被扶養者(女) 年代別健診実施率



[%] 被保険者(男女合計) 年代別健診実施率



[%] 被扶養者(男女合計) 年代別健診実施率



= 評価 =

- ・ 健診未受診者が非常に多い (国保)
- ・ 30代、40代の男性の受診率が低い。

→ 健診は、状態把握に必須であることから、健診受診率を向上させる対策が必要。

<健診未受診者の状況>

健診未受診者が特に疾患に罹患していないのなら問題はないが、実際には生活習慣病に罹患していることが多い。

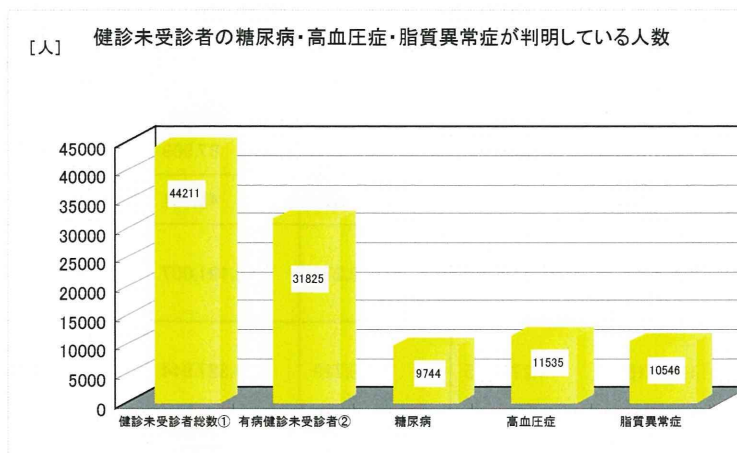
今回、健診未受診者のレセプトについて調査した。

健診未受診者総数①
44,211 人

有病健診未受診者②	病名	人数	脱落傾向	人数
31,825	糖尿病	9,744	通院継続	2,518
			通院脱落傾向あり	7,226
	高血圧症	11,535	通院継続	982
			通院脱落傾向あり	10,553
	脂質異常症	10,546	通院継続	1,635
			通院脱落傾向あり	8,911
②/①×100				
				72.0 %

※通院継続：年間6回以上の糖尿病・高血圧・脂質異常症による通院

※脱落傾向あり：年間1～5回以上の糖尿病・高血圧・脂質異常症による通院



= 評価 =

- ・健診を受けていない人の多くは、糖尿病・高血圧・脂質異常症に罹患している。
- ・さらに、その人たちはきちんと通院していない。

(2)上位 1 割が全体医療費に占める割合

医療費は、一部の人が使っているのか、皆で平等に使っているのかを確認した。

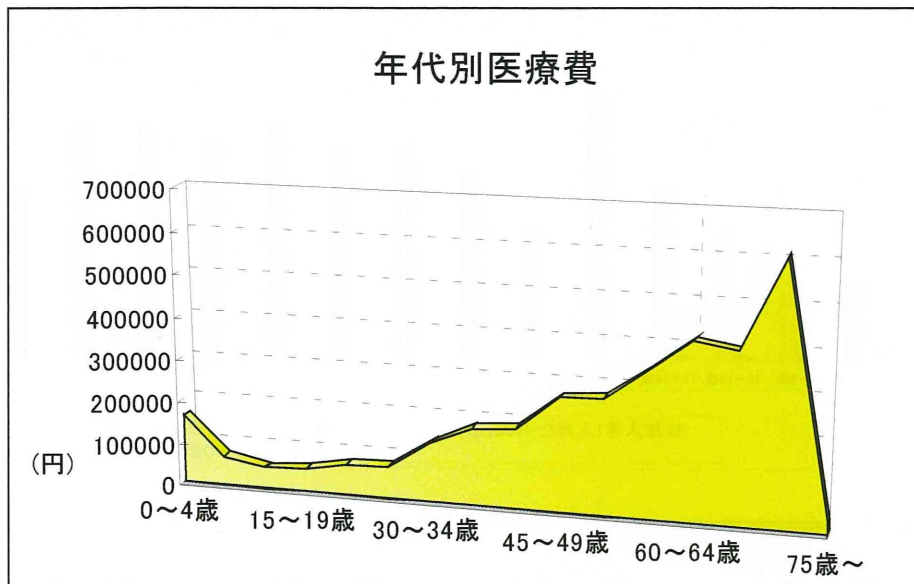
全体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
加入者数	82,698	83,231	83,797	84,417	84,972	85,595	86,304
患者数	45,393	45,333	44,447	45,470	43,976	44,441	45,027
医療費総額 (千円)	2,219,643	2,232,238	2,103,326	2,269,258	2,194,224	2,127,597	2,241,425
医療費 (入院外)(千円)	1,339,931	1,340,889	1,272,219	1,380,895	1,305,575	1,256,905	1,358,157
医療費 (入院)(千円)	535,272,610	555,065,250	519,215,100	544,457,490	556,712,850	543,103,610	533,123,090
医療費 (調剤)(千円)	344,439,120	336,283,780	311,891,820	343,905,380	331,935,890	327,587,900	350,145,690
患者 1 人当たりの 医療費	48,898	49,241	47,322	49,907	49,896	47,875	49,780
加入者 1 人当たり の医療費	26,840	26,820	25,100	26,882	25,823	24,857	25,971

全体	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加入者数	86,304	86,745	87,268	87,909	88,476	89,393	85,900
患者数	45,027	45,177	45,315	45,001	45,499	46,347	45,119
医療費総額 (千円)	2,241,425	2,159,572	2,219,273	2,191,007	2,120,789	2,271,415	26,349,765
医療費 (入院外)(千円)	1,358,157	1,278,425	1,330,719	1,327,944	1,292,135	1,372,551	15,856,345
医療費 (入院)(千円)	533,123	548,092	521,603	530,392	494,597	538,634	6,420,268
医療費 (調剤)(千円)	350,146	333,055	366,950	332,672	334,057	360,229	4,073,152
患者 1 人当たりの 医療費	49,780	47,802	48,974	48,688	46,612	49,009	584,008
加入者 1 人当たり の医療費	25,971	24,896	25,431	24,924	23,970	25,409	306,748

※加入者・患者数の合計は、各月の平均値

年代ごとの医療費は、以下の通り。

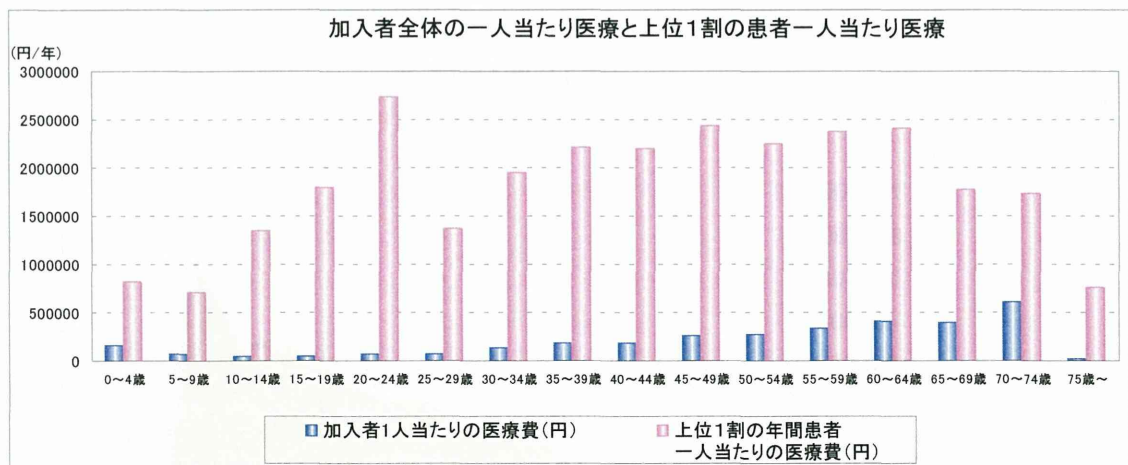
年齢帯	加入者数	年間医療費	加入者1人当たりの医療費
0-4 歳	2,438	396,538,823	162,649
5-9 歳	2,666	187,048,913	70,161
10-14 歳	3,106	153,754,033	49,502
15-19 歳	3,218	179,883,440	55,899
20-24 歳	3,203	238,180,216	74,362
25-29 歳	3,054	234,638,831	76,830
30-34 歳	3,838	532,849,635	138,835
35-39 歳	4,522	823,240,165	182,052
40-44 歳	5,608	1,064,517,941	189,821
45-49 歳	4,918	1,319,707,663	268,342
50-54 歳	5,149	1,406,240,188	273,109
55-59 歳	5,798	1,983,955,643	342,179
60-64 歳	12,033	5,011,702,487	416,497
65-69 歳	12,969	5,189,161,881	400,120
70-74 歳	12,303	7,511,975,382	610,581
75 歳-	4,538	116,369,849	25,643



= 評価 =

・医療費は30代を超えると急激に高くなり、70~74代で最も高くなる。

年齢帯	加入者数	上位1割の高額医療患者数	上位1割の年間医療費	上位1割の年間患者一人当たりの医療費
0-4 歳	2,438	144	118,167,737	820,609
5-9 歳	2,666	75	53,456,756	712,757
10-14 歳	3,106	45	60,577,270	1,346,162
15-19 歳	3,218	60	107,663,099	1,794,385
20-24 歳	3,203	57	156,044,738	2,737,627
25-29 歳	3,054	87	119,570,030	1,374,368
30-34 歳	3,838	185	360,941,321	1,951,034
35-39 歳	4,522	247	546,407,409	2,212,176
40-44 歳	5,608	333	733,816,069	2,203,652
45-49 歳	4,918	379	925,635,586	2,442,310
50-54 歳	5,149	414	932,325,152	2,251,993
55-59 歳	5,798	554	1,315,725,366	2,374,956
60-64 歳	12,033	1,217	2,943,314,441	2,418,500
65-69 歳	12,969	1,426	2,535,263,167	1,777,884
70-74 歳	12,303	2,075	3,597,818,129	1,733,888
75 歳-	4,538	25	19,061,167	762,447



＝ 評価 ＝

- ・高額医療費（上位 1 割）を使っている人と、その他の人では金額が大きく異なる。

高額医療費と全体の医療費は以下の通り。

	医療費（千円）	比率
全体	26,349,765	—
高額	14,525,787	55.1

%

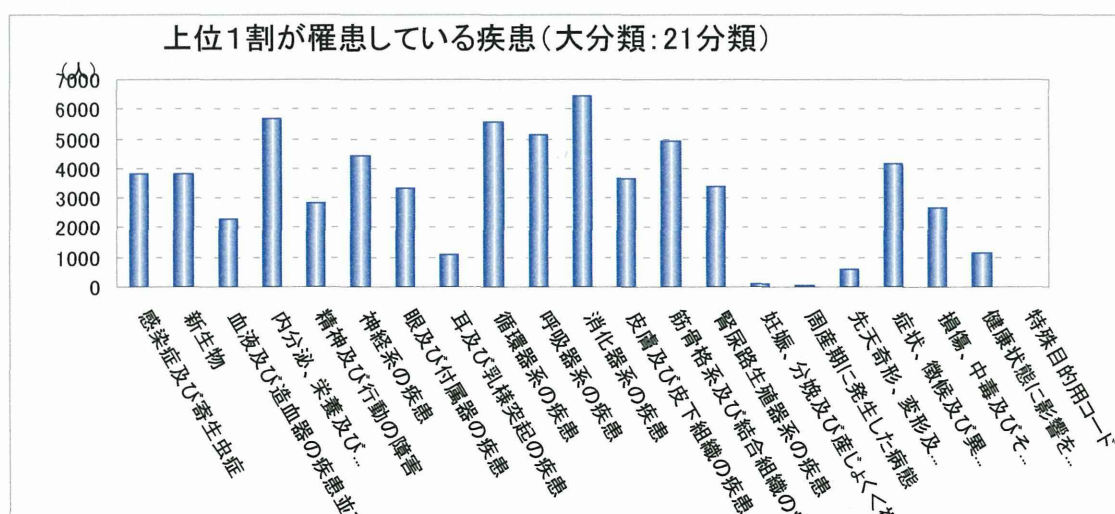
医療費は、一部（1割）の人が、半分（6割）の医療費を使っていることが判明した。

(3)上位1割が罹患している疾患（大分類／中分類）

医療費は、一部（1割）の人が、大部分（5割）の医療費を使っていることが判明したが、その一部の人には、どんな疾患に罹患しているかを確認した。

21の大分類で、分析した。

上位1割の疾患名	人数(のべ)
感染症及び寄生虫症	3,855
新生物	3,851
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,306
内分泌、栄養及び代謝疾患	5,698
精神及び行動の障害	2,841
神経系の疾患	4,436
眼及び付属器の疾患	3,328
耳及び乳様突起の疾患	1,097
循環器系の疾患	5,583
呼吸器系の疾患	5,123
消化器系の疾患	6,433
皮膚及び皮下組織の疾患	3,669
筋骨格系及び結合組織の疾患	4,931
腎尿路生殖器系の疾患	3,401
妊娠、分娩及び産じょく<褥>	97
周産期に発生した病態	41
先天奇形、変形及び染色体異常	617
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,159
損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,699
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,136
特殊目的用コード	0



さらに中分類まで分析すると、以下の結果となった。

分類名	人数(のべ)
1 感染症及び寄生虫症	
b-0101 腸管感染症	1,057
b-0102 結核	265
b-0103 主として性的伝播様式をとる感染症	527
b-0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	498
b-0105 ウイルス肝炎	1,309
b-0106 その他のウイルス疾患	235
b-0107 真菌症	1,198
b-0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	29
b-0109 その他の感染症及び寄生虫症	798
2 新生物	
b-0201 胃の悪性新生物	684
b-0202 結腸の悪性新生物	833
b-0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	97
b-0204 肝及び胆膵の悪性新生物	552
b-0205 気管・気管支及び肺の悪性新生物	569
b-0206 乳房の悪性新生物	242
b-0207 子宮の悪性新生物	172
b-0208 悪性リンパ腫	132
b-0209 白血病	82
b-0210 その他の悪性新生物	1,951
b-0211 良性新生物及びその他の新生物	1,725
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	
b-0301 貧血	1,433
b-0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,157
4 内分泌・栄養及び代謝疾患	
b-0401 甲状腺障害	1,180
b-0402 糖尿病	3,558
b-0403 その他の内分泌・栄養及び代謝疾患	4,562
5 精神及び行動の障害	
b-0501 気管性及び詳細不明の認知症	85
b-0502 精神作用薬使用による精神及び行動の障害	164
b-0503 統合失調症、統合失調症状障害及び妄想性障害	1,181
b-0504 気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	1,202
b-0505 強迫性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1,307
b-0506 知覚障害<精神遅滞>	114
b-0507 その他の精神及び行動の障害	363
6 神経系の疾患	
b-0601 パーキンソン病	485
b-0602 アルツハイマー病	171
b-0603 てんかん	747
b-0604 慢性疼痛及びその他の麻痺性症候群	276
b-0605 自律神経系の障害	132
b-0606 その他の神経系の疾患	3,993
7 眼及び付属器の疾患	
b-0701 結膜炎	1,725
b-0702 白内障	1,639
b-0703 屈折及び調節の障害	2,329
b-0704 その他の眼及び付属器の疾患	2,264
8 耳及び聴覚の疾患	
b-0801 外耳炎	250
b-0802 その他の外耳疾患	188
b-0803 中耳炎	290
b-0804 その他の中耳及び聴覚の疾患	165
b-0805 アニメール病	246
b-0806 その他の内耳疾患	134
b-0807 その他の耳疾患	329

分類名	人数(のべ)
9 循環器系の疾患	
b-0901 高血圧性疾患	3,513
b-0902 虚血性心疾患	2,174
b-0903 その他の心疾患	2,807
b-0904 くも膜下出血	80
b-0905 脳内出血	383
b-0906 脳梗塞	1,171
b-0907 脳動脈硬化（症）	337
b-0908 その他の脳血管疾患	814
b-0909 動脈硬化（症）	844
b-0910 血栓症	507
b-0911 低血圧（症）	231
b-0912 その他の循環器系の疾患	1,203
10 呼吸器系の疾患	
b-1001 急性呼吸器不全<軽微>	981
b-1002 急性気管炎及び急性気管炎	1,738
b-1003 その他の急性気管炎	1,721
b-1004 肺炎	926
b-1005 慢性気管支炎及び急性細気管支炎	1,685
b-1006 アルジー性鼻炎	1,766
b-1007 慢性副鼻腔炎	493
b-1008 急性又は慢性と明示されない気管支炎	636
b-1009 慢性閉塞性肺疾患	770
b-1010 喘息	909
b-1011 その他の呼吸器系の疾患	1,578
11 消化器系の疾患	
b-1101 うち	0
b-1102 膵肉炎及び膵炎	31
b-1103 その他の膵及び膵の支持組織の障害	42
b-1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	1,413
b-1105 胃炎及び十二指腸炎	3,796
b-1106 アルコール性肝疾患	116
b-1107 慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	591
b-1108 肝硬変（アルコール性のものを除く）	288
b-1109 その他の肝疾患	2,748
b-1110 胆石症及び胆のう炎	766
b-1111 胆疾患	469
b-1112 その他の消化器系の疾患	4,817
12 皮膚及び皮下組織の疾患	
b-1201 皮膚炎及び皮下組織の感染症	646
b-1202 皮膚炎及び湿疹	2,518
b-1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	1,977
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	
b-1301 炎症性多発性関節障害	901
b-1302 関節症	1,325
b-1303 骨髄障害（骨髄症を含む）	1,587
b-1304 椎間椎管狭窄	418
b-1305 頸部症候群	0
b-1306 腰痛症及び脊髄神経痛	2,554
b-1307 その他の骨格障害	321
b-1308 肩の障害<痛症>	930
b-1309 骨の密度及び構造の障害	1,435
b-1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1,924

分類名	人数(のべ)
14 腎臓泌尿器系の疾患	
b-1401 糸球体疾患及び腎臓血管障害	580
b-1402 腎不全	464
b-1403 尿路結石症	354
b-1404 その他の腎臓系の疾患	2,156
b-1405 前立腺肥大（症）	657
b-1406 その他の男性生殖系の疾患	1,133
b-1407 月経障害及び閉経前初期障害	228
b-1408 乳房及びその他の女性生殖系の疾患	428
15 妊娠・分娩及び産後	
b-1501 流産	10
b-1502 妊娠高血圧症候群	4
b-1503 早産自然分娩	0
b-1504 その他の妊娠・分娩及び産後	81
16 産産期に発生した病態	
b-1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	27
b-1602 その他の産産期に発生した病態	23
17 先天奇形、変形及び染色体異常	
b-1701 心臓の先天奇形	27
b-1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	569
18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	
b-1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,896
19 損傷、中毒及びその他の外因的影響	
b-1901 骨折	780
b-1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	158
b-1903 熱傷及び凍傷	73
b-1904 中毒	130
b-1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	2,097
21 健康状態に影響を及ぼす要因及び保護サービスの利用	
b-2101 検査及び診察のための健康サービスの利用者	11
b-2102 予防接種	0
b-2103 正常状態及び産後への管理並びに家族計画	3
b-2104 薬の服用	0
b-2105 特定の健康サービスの提供を拒否し及び保護ケアのための健康サービスの利用	4
b-2106 その他の理由による健康サービスの利用者	1,088
22 特殊目的用コード	
b-2210 新型コロナウイルス感染症検査（SARS）	0
b-2220 その他の特殊目的用コード	0

この上位10疾患は、以下の表。

	上位疾患	人数(延べ)
1	b-1112:その他の消化器系の疾患	5,126
2	b-0403:その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	4,877
3	b-1800:症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,413
4	b-0606:その他の神経系の疾患	4,257
5	b-1105:胃炎及び十二指腸炎	4,179
6	b-0402:糖尿病	3,881
7	b-0901:高血圧性疾患	3,651
8	b-1109:その他の肝疾患	3,185
9	b-0903:その他の心疾患	3,126
10	b-1202:皮膚炎及び湿疹	3,038

(4)介入効果（予防が可能か）の評価

代謝疾患、糖尿病、高血圧性疾患、肝疾患＝生活習慣病は、予防可能であることを確認した。

(5)生活習慣病の医療費

生活習慣病にターゲットを絞って分析した。

生活習慣病は全体に対して、どの程度の医療費を占めているかを確認した。

生活習慣病の ICD10 コードは以下とした。

糖尿病	ICD10 コード	E10～E14
高血圧症	ICD10 コード	I10～I13
脂質異常症	ICD10 コード	E78
脳血管障害	ICD10 コード	I60～I69
虚血性心疾患	ICD10 コード	I20～I25
動脈・細動脈疾患	ICD10 コード	I70～I79
肝機能障害	ICD10 コード	K70～73、K76、K77
慢性腎不全	ICD10 コード	N18～19
網膜症	ICD10 コード	H36
壊疽	ICD10 コード	R02
高尿酸血症	ICD10 コード	E79

結果は、生活習慣病関連医療費は、全体の約 62%を占めていることが確認された。

	全体	生活習慣病関連罹患者
人数	89,366	39,060
医療費(円)	26,349,765,090	16,374,702,100
比率	ベース	62.1%

※※人数はレセプトの存在する人

生活習慣病関連医療費は、全体の半分（6割）を占める。

また、透析について分析をした。

透析関係の ICD10 コード

診療行為コード	項目
140007710	人工腎臓（その他）
140008170	人工腎臓（導入期）加算
140033770	障害者等加算（人工腎臓）
140036710	人工腎臓（慢性維持透析）（4時間未満）
140051010	人工腎臓（慢性維持透析）（4時間以上5時間未満）
140051110	人工腎臓（慢性維持透析）（5時間以上）
140052810	人工腎臓（慢性維持透析濾過）（複雑）

	全体	透析治療者
人数	89,366	211
医療費(円)	26,349,765,090	1,071,255,380
比率	ベース	4.1%

1人あたりの医療費	294,852	5,077,040
-----------	---------	-----------

透析関係の医療費は、全体医療費の約 4.1%、一人当たりの医療費は約 500 万円/年であった。

(6)生活習慣病の重症者1割が全体に占める割合

生活習慣病罹患者の高額医療費（重症者と仮定）は、生活習慣病関連医療費のどの程度を占めているかを確認した。

	重症者(1割)	軽症者(9割)	比率(%)
人数	3,904	35,156	10%
医療費(円)	9,777,094,600	6,597,607,500	60%
1人あたりの医療費(円)	2,504,379	187,667	1334.5%

1割の重症者医療費は、生活習慣病関連医療費の約60%を占めており、1人あたりの医療費は、軽症者に比べ重症者は約13.3倍であった。

生活習慣病関連医療費は、重症者1割が半分（6割）を使っている。

＝結論＝

- ・医療費は、1割の人が半分（6割）を使っている。
- ・この1割の人が罹患している疾患は、生活習慣病関連である。
- ・生活習慣病は、重症化予防が可能である。
- ・生活習慣病関連医療費は、全体の半分（6割）を占める。
- ・生活習慣病関連医療費は、重症者1割が半分（6割）を使っている。

生活習慣病の代表的な疾患である糖尿病をターゲットにすることは蓋然性が高い。

1.3 遠隔往診の必要性

(1) 糖尿病の課題

1) 緊急度: 最大	10点	※国際標準HbA1c8.4以上もしくは血糖値160以上		
13,873	名中、	264	名	1.9 %
内訳	本人	8,043	名中、	214
	被扶養者	5,830	名中、	50
				2.7 %
				0.9 %
2) 緊急度: 大	6点	※国際標準HbA1c6.9以上8.4未満もしくは血糖値130以上160未満		
13,873	名中、	654	名	4.7 %
内訳	本人	8,043	名中、	471
	被扶養者	5,830	名中、	183
				5.9 %
				3.1 %
3) 緊急度: 中	3点	※国際標準HbA1c6.2以上6.9未満もしくは血糖値110以上130未満		
13,873	名中、	1,607	名	11.6 %
内訳	本人	8,043	名中、	1,057
	被扶養者	5,830	名中、	550
				13.1 %
				9.4 %
4) 緊急度: 小	0点	※国際標準HbA1c6.2未満もしくは血糖値110未満		
13,873	名中、	11,348	名	81.8 %
内訳	本人	8,043	名中、	6,301
	被扶養者	5,830	名中、	5,047
				78.3 %
				86.6 %

<年代別>

